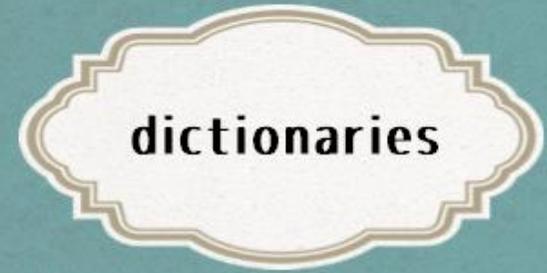




三重短期大学
附属図書館



dictionaries

August - September 2020

こんな本



読んでみて

take free No. 84

dictionaries

辞典、事典、図鑑。

たくさん並んだ

ことばやものごとの中から

これだ！

というものを見つけ出す。

そんな **dictionaries** の旅へ出発です。



目次

dictionaries	1
Book design の世界 vol.14	10
ちょこちょこ日記 #24	12

色の辞典

【いろのじてん】

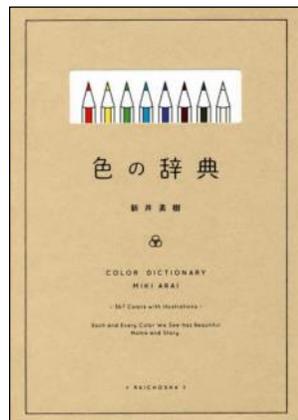
《著者》新井美樹，

山本洋介，大谷友之祐(デザイン・イラスト)

《出版社》雷鳥社

《出版年》2018年

《請求記号》757.3||A 62



▶「すべての色たちに『物語』があります」367色の名前の由来や歴史が、色鉛筆の箱をイメージしたデザインの中につままっている。めくるたびに新しい発見があり、自分の好きな色はどれかじっくり考えたくなる。

かんさい絵ことば辞典

【かんさいえことばじてん】

《著者》ニシワキタダシ，

早川卓馬(コラム)

《出版社》パイインターナショナル

《出版年》2014年

《請求記号》818.6||N 87



▶〈関西弁〉「めっちゃおもろいなあ」=〈標準語〉「すごくおもしろいね」 関西弁を楽しいイラストで表現した一冊。ゆるっとしたキャラクターの姿に和む。よく聞く言葉から初めて出会う言葉まで。4コマなどお楽しみ要素もたくさん。

言の葉連想辞典

【ことのはれんそうじてん】

《著者》あわい(絵)，遊泳舎(編)

《出版社》遊泳舎

《出版年》2019年

《請求記号》814||A 97



▶漢字一文字をテーマに言葉を集め、テーマをイメージした美しいイラストが添えられている。イラストから探したり、言葉の雰囲気から探したり、連想から豊かな言葉の世界が広がる一冊。

ちいさな 花言葉・花図鑑

【ちいさなはなことば・はなずかん】

《著者》宇田川佳子(監修)

《出版社》ユーキャン学び出版

《出版年》2019年

《請求記号》627||U 26



▶美しい花々の写真と花言葉を、花の名前の五十音順で紹介。花名や花言葉の由来などのエピソードも添えられている。巻末には、花言葉索引、開花期索引もあり、便利に使える一冊。

すし図鑑

【すしずかん】

《著者》藤原昌高

《出版社》マイナビ出版

《出版年》2013年

《請求記号》596.21||F 68



▶すしの世界を「楽しみながら『良い食べ方』を考えていた
だきたい」との思いが込められた本書。知らないことば
かりで目から鱗。お値段目安ランクもあり。すしを知ると
もっとおいしくなるはず。

焼肉語辞典

【やきにくごじてん】

《著者》田辺晋太郎(監修),

平井さくら(絵)

《出版社》誠文堂新光社

《出版年》2018年

《請求記号》596.33||H 64



▶焼肉全般の知識がぎゅっとなつまった一冊。肉の部位、お
いしい焼き方、タレなど、こんなにたくさんの焼肉語、奥
が深い。ジュージューとおいしそうな音と香りがただよっ
てくる気がする。

フランス伝統菓子図鑑

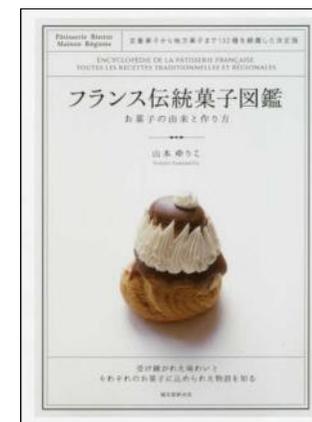
【ふらんすでんとうかしずかん】

《著者》山本ゆりこ

《出版社》誠文堂新光社

《出版年》2019年

《請求記号》596.65||Y 31



▶エクレール(エクレア)、ミル・フォイユ(ミルフィー
ユ)、クレープなど、出会ったことのあるフランス菓子か
ら、初めて出会うものまで、そこに込められた伝統や物語
を知ることができる。お菓子屋さんめぐり気分を楽しめ
る。

世界のサンドイッチ図鑑

【せかいのさんどいっちずかん】

《著者》佐藤政人

《出版社》誠文堂新光社

《出版年》2017年

《請求記号》596.63||Sa 85



▶身近に感じるサンドイッチ。世界に目を向けてみるとた
くさんの種類がある。目新しい組み合わせの発見が楽しい
一冊。日本のサンドイッチとして、カツサンド、焼きソバ
パン、フルーツサンドが紹介されている。

タカラヅカの解剖図鑑

【たからづかのかいぼうずかん】

《著者》中本千晶(文),
牧彩子(イラスト)

《出版社》エクスナレッジ

《出版年》2019年

《請求記号》775.4||N 36



▶「清く正しく美しく」をモットーとする宝塚歌劇団の魅力の秘密。気になるQ&A、人を育てるスターシステム、歴代名作を豊富なイラストとともに紹介。伝統と挑戦のタカラヅカワールドへようこそ。

体が整う ツボの解剖図鑑

【からだがととのうつぼのかいぼうずかん】

《著者》福辻鋭記

《出版社》エクスナレッジ

《出版年》2019年

《請求記号》492.75||F 84



▶ツボの正しい見つけ方や押し方を分かりやすく解説。困った時のために知っておくと安心。自分の体調の変化とうまくつきあっていくヒントをくれる一冊。

電車の顔図鑑

【でんしゃのかおずかん】

《著者》江口明男

《出版社》天夢人

《出版年》2017年

《請求記号》536||E 33



▶JR線を走る電車の顔に焦点をあてた一冊。なかなか真正面から見ることのない電車をじっくり観察。電車にもいろいろな顔があり、形や色づかい、歴史や変化を感じることができる。

F1 語辞典

【えふわんごじてん】

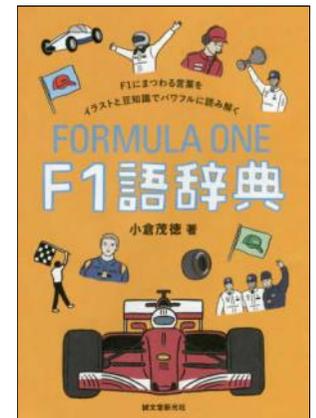
《著者》小倉茂徳,

黒崎聡之(イラスト)

《出版社》誠文堂新光社

《出版年》2017年

《請求記号》788.7||O 26



▶自動車レースの最高峰F1。F1解説者が用語解説やコラムを通じて、初心者にもわかりやすくF1の魅力伝える。ゆるめのイラストが絶妙。

失敗図鑑

【しっばいずかん】

《著者》大野正人,
死後くん(イラスト)

《出版社》文響社

《出版年》2018年

《請求記号》280||0 69



▶周りから見るとちょっとしたことでも、自分にとっては大きな悩みだったりする。誰もが知る偉人にも、たくさんの失敗があった。偉人が「アチャ〜」と思ったその先に何があったのか。

47都道府県の 歴史と地理がわかる事典

【47とどうふけんの

れきしとちりがわかるじてん】

《著者》伊藤賀一

《出版社》幻冬舎

《出版年》2019年

《請求記号》291.04||I 89



▶地理、歴史から出身有名人、ご当地ネタまで知らなかった日本各地の姿が浮かび上がってくる。三重県の話として、[方言]「ささって」(3日後、あさっての次の日)、「しあさって」(4日後)が紹介されている。

めくって学べる きかいのしくみ図鑑

【めくってまなべるきかいのしくみずかん】

《著者》小峯龍男(監修)

《出版社》学研プラス

《出版年》2018年

《請求記号》530||G 16



▶洗濯機、自動販売機、エレベーターなど日常で使っている機械。本書では、めくると機械の中をのぞくことができ、機械が動くしくみがわかる。くらしを便利にするしくみを知ると、ものごとの見え方が変わってくる。

信じられない現実の 大図鑑

【信じられないげんじつのだいでずかん】

《著者》ドーリング・キンダースリー(編著),
こどもくらぶ(訳)

《出版社》東京書籍

《出版年》2014年

《請求記号》404||D 87



▶地球上に水はどれだけあるか？宇宙はどのくらい低温？フラッシュドライブに入る情報量は？宇宙や地球などの様々な疑問をビジュアル化した一冊。ビジュアルとして目に見えることで驚きが倍増。

Book design

の世界

vol.14

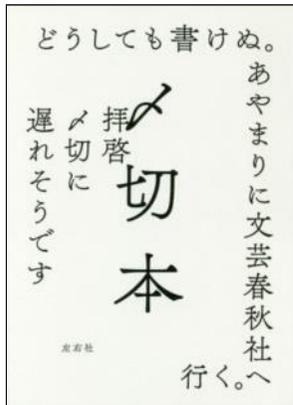
鈴木 千佳子 さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

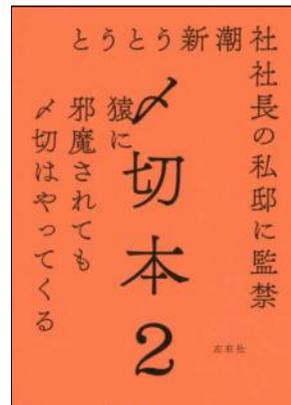
第14回目は、鈴木 千佳子さんです。

グラフィックデザイナーの鈴木千佳子さんは、前回ご紹介した寄藤文平さん主催の文平銀座に2007年より所属され、2015年よりフリーランスとして、装丁を中心としたデザインの仕事で活躍されています。



はじめに『メ切本』1,2 (左右社編集部編/左右社/2016年/914.68||Sa 99) をご紹介します。メ切と向き合う作家の言葉が詰まったこの本。作家の人間味を感じられる一冊です。本文の一部がカバーや見返しにも現われていて、本書の

持つおかしみが伝わってくる装丁です。メ切を目の前にしたような感覚を覚えます。本文には様々な種類の用紙が使われているので、紙好きの方も楽しめます。



装幀：鈴木千佳子



装丁・本文設計：
鈴木千佳子
装画・挿画：小幡彩貴

『踊る星座』(青山七恵著/中央論新社/2017年/913.6||A 58) は、ダンス用品会社で働く女性の長い一日の物語です。カバー、装画、見返し、花布、全体が水色を基調にした装丁になっています。装画も鈴木さんによるものです。イラストに重なった銀色の箔押しが輝きます。透け感のある遊び紙にも装画と同じイラストが使われていますが、印象が違って見えてきます。全体の調和が美しい装丁です。



装画・装幀：鈴木千佳子

「装丁の形式にこだわることなく、作品を読んだ気持ちを素直にデザインに表すにはどうしたらよいか。そんなことをいつも考えています」そう語られる鈴木千佳子さんの装丁は、さりげなく作品に寄り添って、本を開く瞬間のよろこびを彩ります。

参考・引用文献：『Pen』2018年3月15日号 No.477 (CCCメディア)

「Creator's File アイデアの扉 #086 鈴木千佳子」



ちょこちょこ日記 #24 「劇場」

映画『劇場』を見ました。

原作はお笑いコンビ・ピースの又吉直樹さんの小説『劇場』(新潮社／2017年／913.6||Ma 71)です。劇団を立ち上げた永田と服飾の大学に通う沙希。東京で夢を追いかける二人の物語です。

とても好きな小説なので、映画館で見るのを心待ちにしていたのですが、2020年4月17日に予定されていた公開は延期となってしまいました。そして、いよいよ7月17日から劇場公開と配信が始まりました。劇場公開と同日に配信という異例の試み。映画館で見るか、配信で見るか、散々迷った結果、配信で見ることにしました。

配信のいいところは、自分の好きな場所で好きな時間に見られること。テーブルにパソコンを置いて、少しでも映画館の雰囲気近づけるために真夜中の部屋を真っ暗にして、自分のタイミングで映画を始めます。

エンドロールが最後まで流れ、誰も見ていないので豪快に涙をぬぐいます。ふと気付くと、真っ暗だった部屋がうっすらと明るくなりました。映画が終わったあと照明が灯った映画館のように。空が白んで、朝がそこまでやってきました。うすぼんやりとした明るさが映画の雰囲気に合っていて、とてもしみしました。『劇場』、すばらしかったです。

今回、配信で見たことで、映画館で見るともっといいんだろうなという気持ちになったのもいい経験でした。原作を読み返してから、もう一度配信で見ようと思っています。また新しい発見がありそうです。

こんな本読んでみて No.84

2020年8月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>